

Ⅲ. 「基準」ごとの自己評価

基準 1. 建学の精神・大学の基本理念及び使命・目的

(教育の理念・目的・目標、大学の個性、特色等)

1-1. 建学の精神・大学の基本理念が学内外に示されていること。

《1-1の視点》

1-1-① 建学の精神・大学の基本理念が学内外に示されているか。

(1) 1-1の事実の説明(現状)

学内に対しては、全学生に配布する学生便覧に、「就学のしるべ」をはじめ、4～7頁には学園小史(一、「学園の母」柴田やす先生、二、にはうるしの樹、三、東北女子大学の誕生、四、建学の精神)を、また学則第一条(本学の使命と目的)を掲載し、本学の建学の精神・大学の基本理念を明らかにしている。入学式(全教職員、全在学生参列)の式辞、新入学生オリエンテーションでの講話、学期はじめに行われる全学ガイダンス、創立記念式典(全教職員、全在校生参列)等の際にも建学の精神に触れ、積極的に周知理解を図っている。

さらに、新入学生及び新任教職員全員に対して、「ここに人ありき 柴田やす伝」(船水清著 全106頁)を配布し、通読を推奨すると同時に、上記の講話時等にも活用している。

学外に対しては、本学の「大学案内」等を資料として各高等学校に持参又は送付し、教員、高校生の閲覧に供してもらうと同時に、各地で開催される大学説明会、オープンキャンパス、新入学生の保護者に対する就学説明会、4年次進級学生の保護者の会等の際にも建学の精神に基づく本学の教育方針と、それが現代社会における人間形成にどのような意味を持つものであるか等を話すことによって周知し、理解と協力を求め、社会とともに人材を育成することを目指してきた。また、開設してあるホームページにおいても、建学の精神ならびに校訓を掲載して、学外への周知を図っている。

(2) 1-1の自己評価

前述したように、学内外に大学の建学の精神は十分周知されていると評価している。

また、建学の精神、本学の基本理念に基づく教育方針に沿った教育研究活動が、学生の専門職への高い就職率となって現れている点でも、十分周知徹底し、生かされている結果であると評価される

(3) 1-1の改善・向上方策(将来計画)

広報委員会では、本年6月の新校舎完成を機にホームページの刷新を図ることとし、「見やすい・分かりやすい・調べやすい・使いやすい」を目指して新ホームページの構築に取り組んでいる。このことにより、本学建学の精神と教育方針を、より一層明確に社会に発信し、周知していくことにしている。

さらには、「建学の精神と本学の教育研究」、「建学の精神にたつ現代専門職者論」等の公開講座開設計画をも検討することになっている。